



西暦
1130年のノーベル賞
に相応しいのは

マルヤム・アストゥルラービヤー

イスラーム教徒の女性で天文学者で、昔の天体観測器アストラーベを改良しました。現在のコンパスや人口衛星の基礎であり、それを通して太陽の高度測定、昼夜の時刻の測定もできます。アストラーベは中世の天文学者にとって懐中時計として使われていたのです。

(アレppo、10世紀頃)

